

たしかかな平塚を。

さらに、選ばれるまちへ

「令和」時代の平塚へ

子や孫へ、未来をつなげる

落合かつひろ3期目の約束

たしかな平塚を。落合かつひろ3期目の約束。

子育て世代の転入増、求人倍率や法人税収の回復など、明るい流れが平塚に生まれています。この流れを加速して、子や孫に「たしかな平塚」をつなぎます。

民間活力活用事業に市民意見を反映させる「平塚方式」など、新しい対話の形を全国に先駆けて広げます。同時に、県内トップクラスの健全な財政運営を堅持します。

「令和」時代の平塚を、一緒に築いていきませんか。

1 新たに取り組む主な施策

- ① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり
- ② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり
- ③ 自然と人が共生するまちづくり
- ④ 活力とにぎわいのある街づくり

2 施策の実現に向けて

3 夢の実現や課題の解決に向けて道筋をつける取り組み

1-① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

教育

- エアコンは残る中学校普通教室を夏前に整備。トイレ洋式化も加速します。
- 中学校完全給食の早期実現に向け、調理場の整備に着手します。
- 相模小学校は2022年4月までの開校をめざします。
- 外国人英語指導者（AET）の学校訪問を拡充するなど、英語教育の充実に取り組めます。
- 中学校は県内の市で1位のパソコン配備率となっています（タブレット含む）。ICT（情報通信技術）を活用して、自主的・意欲的に取り組む力を伸ばしていきます。
- 学力向上に向け、放課後自主学習教室の実施校を増やすなど、自主学習の環境づくりを進めます。
- 教育現場のマンパワーを充実します。

文化・スポーツ

- 文化・芸術の拠点となる「平塚文化芸術ホール」は、2022年春のオープンをめざします。
- 囲碁のまちづくりを進めます。2021ねんりんピック神奈川大会で、平塚を囲碁の会場にします。
- 市民文化を創造・発信するため、文化振興計画を策定します。
- 地域の歴史や文化を生かしたまちづくりを進めます。
- ベルマーレが主体となったサッカー専用スタジアム整備への取り組みを支援します。

人権・市民総活躍社会

- 児童虐待、高齢者虐待等に対応するため、ネットワークの強化、人材の育成等を図ります。
 - 女性・高齢者・外国人・LGBT・障害者等一人ひとりが能力を發揮できる、全員参加型社会を実現するための取り組みを進めます。
 - 多文化共生の一環として、市役所業務の多言語対応を拡充します。ハザードマップ、ごみ分別表、給食の献立など、幅広く対応します。
 - 市役所女性管理職の割合は25%まで高めることをめざします。
 - 働き方改革を先導。イクボスの取り組みを広げます。
-

1-② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり

子育て支援

- ・湘南初、中学校3年生まで小児医療費助成の所得制限を撤廃します。
- ・産前産後ヘルパー制度を創設。ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の取り組みを拡充するほか、子どものほしいカップルを支援します。
- ・2020年4月までに保育園の待機児童をゼロにします。
- ・病児・病後児保育の取り組みを進めます。
- ・公立保育所は配慮が必要な子どもたちを支援する地域の拠点にします。
- ・保育士の休職や離職を防ぐため、メンタルヘルス対策を進めます。

福祉

- ・高齢者、障がい者、子育て世帯等を、地域と連携し分野を超えて総合的に支援します。
- ・スマイル100歳社会へ。認知症対策や未病対策、40代からの健康長寿事業を強化します。
- ・高齢者元気応援ポイント事業は、活動の場を子育て施設を含めて拡充します。
- ・UR高村団地を、福祉・医療・介護・交通等、地域共生社会のモデルとして再生します。
- ・障がい者雇用のある「夢のタネ」の取り組みを学校などにも広げます。

安心・安全

- ・自助、共助、公助の取り組みを進めるため、「マイタイムライン」※の普及に取り組めます。
- ・ビーチパークと龍城ヶ丘海岸に津波避難施設を整備し、県内一安全な浜辺をめざします。
- ・市民の命を守るため、市民病院の救命救急や小児周産期部門を確実に支えます。
- ・「体感治安」を向上させるため、市民協働で新たな施策を立案し、取り組みを進めます。

※マイタイムラインとは、住民一人ひとりのタイムラインであり、災害時に自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、まとめたもの。

1-③ 自然と人が共生するまちづくり

環境

- SDGs 実現に向け、波力発電、エネルギー地産地消、プラスチックゼロに取り組めます。
- 可燃ごみ戸別収集システムをモデル地区に導入。ごみを出しやすくします。
- 生物多様性の保全を市民活動団体との協働で進めます。
- 県動物保護センターと連携し、人と動物が共生するまちづくりを進めます。
- 2020年ツインシティ大神地区まち開き。新エネ（EV、水素）活用拠点の整備や大型倉庫の屋根での太陽光・市民発電所を働きかけます。

交通

- 地域公共交通網を再構築し、交通空白地域や交通不便地域対策に取り組むとともに、「住民主体の地域内移動手段」に対する補助制度を創設します。
- ツインシティ大神地区と平塚駅とを結ぶ南北交通に連節バスを導入するほか、平塚駅と東海大学前駅とを結ぶ新たなバス路線を設けます。
- 平塚駅北口に下りエスカレーターを設置。バリアフリーのまちづくりを進めます。
- 自転車安全対策を進め、通行ゾーン整備計画を完成させます。
- 平塚駅南口に駐輪場を増設し、シェアサイクルを導入します。

みどり

- 龍城ヶ丘プール跡地と東西の公園を再整備。養浜や散歩道整備も進め、市民が親しみ誇れる海岸にします。
- 総合公園のトイレ改築・改修、カフェ設置などを進め、魅力アップを図ります。
- 四季折々の花の名所づくり。湘南平、馬入・水辺の楽校などで推進します。

1-④ 活力とにぎわいのある街づくり

産業振興

- がんばる事業者を応援。創業や事業承継の支援、農業・漁業の6次産業化を広げます。
- 産業間連携を推進。市内金融機関等と連携したセミナーの開催、マッチング機会の創出、専門家派遣などを展開します。
- 次世代の農業・漁業における新たな担い手の確保と人材の育成を進めます。
- 新港背後地での多目的広場やトイレの整備など、海の恵みを楽しむことができる環境づくりを進め、水産業の強化を図ります。

観光

- 本市の産業等の特徴を活かした体験型観光プログラムを開発。新たな着地型観光を推進します。
- 2020年「第70回湘南ひらつか七夕まつり」を市民協働で盛大に開催します。
- 観光の拠点として、湘南平の再整備に取り組みます。
- 近隣市町と連携して、広域的な魅力づくり・魅力の発信を進めます。

雇用

- 労働生産性の向上を支援するとともに、若年層や女性、高齢者など潜在的労働力の活用を促進し、働く場を広げます。
- 若年層の正規雇用を促進し、安心して結婚・出産できる環境づくりを進めます。
- テレワークを活用した保育つき共用オフィスなど、子育てと仕事の両立を応援します。
- 市内に在住または転居して就職する学生の奨学金返還を補助します。

中心市街地の活性化

- 中心市街地のにぎわいづくりを推進します。事業者や自治会等との意見交換を進め、活性化に向けた事業を進めます。
- 2022年春、平塚文化芸術ホール完成。中心市街地や平塚駅西口を活性化して、にぎわいを創出します。

2 施策の実現に向けて

市民との協働

- 協働のまちづくり基金を活用して、自治会をはじめとする地域活動や市民活動などを支えます。
- PFI・PPPなど民間活力活用事業に市民意見を反映させる「平塚方式」など、新しい対話の形を全国に先駆けて広げます。
- 「ほっとミーティング」を進化させ、市民のみなさんと市長との新たな対話集会を始めます。中学校完全給食は生徒・保護者の声を踏まえて進めます。

行財政改革の推進

- 県内トップクラスの健全な財政運営を堅持します。
- 「公共施設等総合管理計画」を着実に推進します。
- 窓口業務を民間委託し、窓口コンシェルジュ（案内係）導入などサービス向上に取り組みます。
- 駅ビル・ラスカ内に市民窓口センターを移設。選挙の期日前投票所にも対応します。
- パソコンのタブレット化やAI（人工知能）・RPA（事務作業をロボットで自動化する取り組み）の導入などの業務改善を進め、創出した時間を市民サービス向上に活用します。
- 公共施設などのWi-Fiを民間の力を活用して拡充します。

組織改革

- 戦略的な組織づくりを推進。災害対策などで、市長がリーダーシップをさらに発揮できる組織にします。
- 中学校完全給食実現のため、推進体制を強化し取り組みを進めます。
- まちづくり財団、生きがい事業団、市社会福祉協議会の経営改革（組織・業務の見直し、採算性の重視など）を促します。

シティプロモーション

- 若い世代や子育て世代をターゲットにして都市イメージの向上・魅力の発信に取り組みるとともに、そのニーズを調査分析して各部署の施策に反映させます。
- SNSやウェブ広告、デジタルサイネージ等を活用し、情報発信を強化します。

3 夢の実現や課題解決に向けて道筋をつける取り組み

オリンピック・パラリンピックのレガシー活用

- リトアニアとの交流のネクストステージづくり。
- 英語教育先進のまちづくり。
- パラスポーツの拠点をめざすまちづくり。

まちの再生・災害のないまちづくり

- 文化公園施設（中央図書館、博物館など）の将来構想づくり。
- 平塚駅西口再整備の構想づくり。
- 大浜地区を中心に、海と漁業をテーマとした新港周辺のまちづくりに向けた構想づくり。
- これまでの最大雨量である70mm/hを超えても浸水しないまちづくりに向けた下水道の将来構想づくり。

西部地域の資源の活用

- 神奈川大学湘南ひらつかキャンパスから2学部が移転した後の、湘南ひらつかキャンパスの新たな展開を求める働きかけを強めます。
- 東海大学前駅と平塚駅とを結ぶバス路線新設を契機とした、東海大学と中心市街地との骨太のパイプづくり。
- ゆるぎ地区の農と里山に着目し、地域・大学・企業と連携した県内初のクラインガルテン・週末就農の構想づくり。

たしかな平塚を。落合かつひろ3期目の約束。





勇気、誠実、責任感

対話と共感で、信頼のまちづくり

ホームページもご覧ください。

<http://katsu-ochiai.jp/>

「落合かつひろ」で検索してください。

e-mail office-kizuna@katsu-ochiai.jp

電話・FAX 0463-55-3066

落合かつひろと平塚をつくる会



※無断複写・複製・転載禁止